



看護部通信

2016年 12月



10月末から12月2日までの5週間、日赤秋田看護大学認知症看護認定看護師教育課程の研修生が認知症病棟で実習を行ないました。実習担当病棟のみなさん、ご協力ありがとうございました。認定を目指し真剣に学ぶ姿に刺激され、新人時代を思い出させてもらいました。今回の投稿者2人も有意義な研修が体験できて嬉しく思います。

忙しい業務に追われ目の前の問題解決で精一杯の毎日ですが、時に立ち止まり自分の看護観、「看護ってなんだろう？」と考えてみることも大切ですね。

今年もあと1か月を切りました。朝晩冷え込む毎日ですが、体調管理を万全に過ごしましょう。

<看護管理室>

色々な意味で収穫の秋でした

3病棟 H・K

9月から長期間の看護管理者研修に参加しました。課題の取り組みには苦勞し、お粗末な結果に落胆することも多かったのですが、自分を知り、見つめ直す良い機会となりました。

長い緊張が続く中で【姉御肌の仲間達から受けた愛の叱咤激励】【お昼休みの大爆笑ネタ】そして【県内看護ネットワーク参加と交流の継続】は、予想外の嬉しい収穫でした。

家庭では、課題に取り組み机に向かう私の姿に「異変だ!!」と子どもは感じたらしく、励ましの声をかけ気遣ってくれました。我が子の心の成長に触れたことももう一つの収穫です。



研修を通じて知り合った仲間や支えてくれた人たちから得たものを、更に美味しくして職場の皆さんにお裾分けできたらいいなと思っています。



研修を終えて

3病棟 S・E

5月から8月にかけて認定看護管理者教育課程ファーストレベルに参加しました。初めは緊張した気持ちで臨んだことを思い出します。何よりレポート作成に苦勞して数ヶ月の研修期間が、あっという間に過ぎました。

研修中、私を支えてくれた病棟の皆さまには感謝でいっぱいです。



今回の研修で改めて学んだことは、診療科を問わず医療機関にとってチーム医療・多職種連携が大切であるということです。

リーダーは、多職種との情報交換やカンファレンスでは、何でも話し合える職場風土を築くことが大切です。同時に、病棟スタッフ個々の看護実践を活かせるよう支援することが求められます。

諸先輩から助言を受けながら、看護専門職の自覚を持ち、チームリーダーとしてさらに成長していきます。